



**問** 改修や更新を迎える施設には莫大な費用を要するという一方で、建築物を目標通り削減できたとしても到底追いつかない。莫大な費用を未来の子どもたちにツケを回すことになると、当局の考え方、及び今後の取り組みについて問う。

**答** 総務部長  
今後30年間で建築物の施設面積を50%削減する目標を掲げ、現在、仮称ですが「高島市公共施設再編計画」の策定に取り組んでいきます。また橋梁や道路、上下水道等インフラ資産については、既存施設の更新のため、将来コストも多額の費用が必要となるので、長寿命化を可能な限り図り、緊急度や優先度を見極め、計画的かつ効率的に改修していきます。



澤本 長俊 議員

ツケを回さない  
市政を

施設の改修等によって、子どもたちにツケを回すことになるが当局の考えは？

**答** 計画的かつ効率的に改修していきます。

**問**

公共施設の使用料や国保税等、市民への負担増による不満をおっしゃる方もおられるが、それは将来、高島市を担っていただく子どもたちにこのままでは現在よりはるかに負担を増やすことになる、ツケを回すものになるといふことがまだ伝わっていないからだと考える。そのことを伝えるためには職員全員が、理解して取り組みなければ伝わらない。

**答**

市長

就任当初、高島市の財政状況を分析しましたら、10年後には当初予算が組めなくなるというのが分析結果でした。そのため、この4年間で一定の見直しも行って、基金も約51億円積み増しし、借金も約28億円返済しました。こういうことを

積み上げながら、なんとか持続可能な高島の財政運営に目処をつけさせていただいていきます。こういう思いを職員全員が十分認識すべきということはおっしゃる通りですので、今後もし引き続き理解を促し、そして市民の皆様にもご理解いただけるよう力を入れて取り組んでいきます。

その他の質問

●文化財を活用した観光振興を

●学校と教育委員会

